



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学
大学院教育学研究科・教育学部
Graduate School of Education / Faculty of Education

それは**未来の誰か**を
ちよつと
幸せにする学問



教育学研究科

生涯教育科学コース

教育情報アセスメントコース

教育政策科学コース

教育心理学コース

グローバル共生教育論コース

臨床心理学コース

TOHOKU UNIVERSITY

Graduate School of Education / Faculty of Education

数字で見る東北教育

— 東北大学について

高水準の研究・教育で
5回連続トップ

THE日本大学ランキング

第1位

※「Times Higher Education
(THEイギリスの高等教育専門誌)」
によるTHE日本大学ランキング2025

東北大学設立年

1907年

(東北帝国大学創立)

国内で3番目の
帝国大学として
創設



国内有数の大学図書館は
知の宝庫



附属図書館蔵書数

本館(教育学部と同じキャンパス)の蔵書数

図書 2,911,438冊

雑誌 45,140種類

※「東北大学概要」掲載データ(2025.3.31現在)

敷地面積

約 2,200 万㎡

※「東北大学概要」掲載データ
(2025.5.1現在で所有:21,903,893㎡)

仙台市内に4つの
広大なキャンパス

— 学部について

全国から教育や心理に
興味を持つ
同志が集結

教育学部学生数

301名

2026.5.1現在

男女比 45:55

教育学部教員数

40名

2026年度

教員と学生の比率 7.53

一人ひとりに
寄り添った
手厚い教育指導

1953年には
大学院教育学研究科
設置

教育学部設置

1949年

教育学科、学校教育学科、特殊教育学科、
2年制教員養成課程

教育学部1学年学生数

73名

2026年度学部入学者数

男女比 35:38

少人数授業で
より深い議論と
探究ができる

世界に広がる
学びの場

学術交流協定締結校

22校

CONTENTS

数字で見る東北教育

02 数字で見る東北教育

教育学研究科の紹介

- 04 生涯教育科学コース
教育政策科学コース
グローバル共生教育論コース
- 05 教育情報アセスメントコース
教育心理学コース
臨床心理学コース

教育学部の特徴と学習の流れ

- 06 教育学コース
教育心理学コース

東北大学教育学部・ 大学院教育学研究科に決めた理由

- 07 東北大学教育学部・
大学院教育学研究科に決めた理由

学生インタビュー

- 08 学生インタビュー

施設紹介

- 10 図書室、コンピュータ実習室
リフレッシュルーム、実験室

データで見る教育学部・教育学研究科

- 11 教育学部・教育学研究科の在学者数
教育学部・教育学研究科でとれる資格・受験資格
学部卒業生・大学院(修士/博士)修士生の進路

取り組み

- 12 心理支援センター
臨床心理相談室
発達・学習心理相談室
災害心理支援室
遠隔支援チーム
- 13 先端教育研究実践センター
国際シンポジウム・提携校
AEL COURSE

学生支援制度

- 14 各種奨学金制度
TA・RA制度
日本学術振興会特別研究員制度
博士研究員制度
東北大学学際高等教育研究院制度
長期履修制度

論文・研究紹介

- 15 論文・研究紹介

東北大学教育学部Q&A

- 16 東北大学教育学部Q&A

教育という営みを学際的に探究し よりよい未来の教育をデザインする

もしも教育がなかったら、私たちの世界はどうなっていたでしょうか。バスも電車もなく、インターネットもありません。誰も文字を読めず、お金の計算もできません。いや、本もお金も存在すらしなかったでしょう。

教育とは、人類にしかみられない営みです。また、人類であれば、ジャングルの奥深くや極北の地でも、大人が子どもを教え、子どもは大人から教わろうとします。そのような積極的に教える・教わるという活動によって、人類は個々人の発明・発見を共有し、世代を超えて継承することで、豊かで多様な文化をつくりあげてきました。

そのような教育という営みが、どのような歴史をもって発展し、どのような制度によって動いているのか。貧困や紛争によってどのような影響を受けるのか、どう対処すればよいのか。また、教える・教わるという活動を支える人の心理はどのような仕組みを持っているのか、発達障害などでそれがうまく働かない場合はどうなるのか、どうすればよいのか。心を病んでしまった人にはどのようなサポートができるのか。生成AIによって教育はどう変わるのか、変わるべきなのか。

これらの課題を、脳科学・情報科学を含めた学際的なアプローチで解き明かし、そこから未来の教育をつくりあげていく、それが東北大学教育学部のミッションです。あなたもこの知的冒険にご一緒しませんか？



東北大学
大学院教育学研究科長・教育学部長

KOZIMA HIDEKI
小嶋 秀樹

WEBサイトで
学部長挨拶を見る





教育学研究科の紹介

生涯教育科学コース

人間の誕生から死にいたるまでの
プロセスを研究する手法を学ぶ

持続可能で公正な社会の形成に資するため、生涯にわたる人間形成と教育のあり方について、原理的、巨視的、社会的な視点から深く理解し、知識基盤社会、生涯学習社会に必要な洞察力、企画力、実践力を有する人材を育成することを目的としています。具体的には、教育を「人間形成」のプロセスとして広くとらえ直し、学校という制度化された学びの場のプロセスだけでなく、人間の誕生から死にいたるまでのプロセスを、哲学、歴史、社会学、文化人類学の視点から研究する手法を学ぶことができます。



教育政策科学コース

政治・経済・社会が複雑に絡み合う課題の
解決能力を育成

財政危機や少子高齢化とともに民族・文化の多様化が進む国々では、効率的な資源配分だけでなく異質かつ多様な人びとの公正な処遇という観点からも教育政策を考えていく必要があります。本コースでは、教育社会学、教育行政学及び比較教育学の学問領域を「教育政策科学」という共通の枠組みのもとに統合した教育プログラムを提供することで、上記のような政治・経済・社会が複雑に絡み合う課題の解決に求められる、幅広い視野からの課題発見能力、高度な分析能力及び批判的思考力をバランスよく備えた人材を育成していきます。

グローバル共生教育論コース

グローバル化する社会における
新しい教育の実践と研究ができる人材を育成

グローバル化する世界における複合的で多様な課題に対応し、持続可能な社会を構築するための新しい教育のあり方への変容が求められています。本コースでは、学校教育、成人教育、国際教育開発、多文化教育という学際的な観点から、知識伝達型のこれまでの教育を問い直し、価値観の異なる人々と協働しつつ「正解のない」新たな状況に当事者意識を持ち対応できる教育や実践を探究します。本コースでの学びを通し、グローバル化する社会における教育の課題を、ローカルな現場にも立脚しながら重層的に把握し、多様性の尊重、公正、社会正義といった現代社会に求められている価値観や倫理観に基づき分析し、実際的な問題解決に貢献できる専門能力を有する研究者と実践者を育成します。



Faculty Members

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 甲斐 健人
教授・スポーツ文化論 | 李 仁子
准教授・人間形成論 |
| 石井山 竜平
准教授・社会教育学 | 澤田 哲生
准教授・人間形成論 |
| 鷲谷 洋輔
准教授・スポーツ文化論 | 白岩 伸也
准教授・人間形成論 |

Faculty Members

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 青木 栄一
教授・教育行政学 | 島 一則
教授・教育社会学 |
| 福田 亘孝
教授・教育社会学 | 井本 佳宏
准教授・比較教育学 |
| 後藤 武俊
准教授・教育行政学 | |

Faculty Members

- | | |
|---|--------------------------------|
| Greg William Misiaszek
国際卓越教授・ポスト批判的比較国際教育 | |
| 谷口 和也
准教授・学校教育論 | 劉 靖
准教授・国際教育開発論 |
| 末松 和子
教授・多文化教育論
(協力講座教員) | 渡部 由紀
教授・多文化教育論
(協力講座教員) |
| 高松 美能
准教授・多文化教育論
(協力講座教員) | ナカサト ローレン
講師・国際教育開発論 |



教育情報アセスメントコース

学びのイノベーションを視野に入れ
アセスメントの基礎を固める

現代の教育・学習環境のデザインにあたっては、すべての人びとに開かれた学習機会の提供という観点からInformation and Communication Technology (ICT) のより発展的かつ有効な導入が求められています。そこでは、ICTを駆使した教育プログラムの開発だけでなく、そのプロセスや効果の検証・アセスメントが重要になってきます。本コースでは、日本社会の成熟化、少子化、価値の多元化が進む知識基盤時代の教育にふさわしい、学びのイノベーションを視野に入れつつ、アセスメントの基礎を固め、客観的なデータ・根拠にもとづいて教育を測定し評価するために必要な専門的能力・スキル・知識を修得した人材を育成していきます。

教育心理学コース

教授・学習や人間発達のしくみと
その支援ニーズを心理学的観点でとらえる

教育心理学における「教育」とは、広く、人と人がかかわる場面の問題としてとらえることができます。例えば、分数の掛け算につまずく小学生にどのように教えたらよいのか、なぜ中学生の非行発生率は他の世代より高いのか、自閉スペクトラム症などのコミュニケーションに困難を抱える子どもたちをどのように支援していけばよいのか、などです。本コースでは、こうした教授・学習や人間発達のしくみ、ならびに発達過程における障害や支援ニーズに対して、心理学的観点から多面的・多角的にとらえ、そのメカニズムを明らかにすることで、その理論および実際の心理的支援や教育的支援を実証的手法により開発できる人材、ならびに心理専門職を養成する人材を育成します。

臨床心理学コース

心理専門職として
広く社会に貢献できる人材を養成

子どもや成人をめぐる心理社会的問題を見ると、学校における不登校やいじめの問題、度重なる災害による問題、虐待やハラスメントなど家庭や組織での問題など様々な領域で、その深刻さを増しつつあります。本コースでは、様々な領域において心理的問題を擁する方々やその家族に対する援助についての新たな知見を見出す研究者を養成し、また、相談や援助の業務に従事する公認心理師や臨床心理士の受験資格を取得し、心理専門職として、広く社会に貢献できる人材を養成します。

Faculty Members

- | | |
|--|--|
| 熊井 正之
教授・教育情報デザイン論 | 熊谷 龍一
教授・教育評価測定論 |
| 小嶋 秀樹
教授・教育情報デザイン論 | Clifford Stevenson
国際卓越教授
(Distinguished Professor)・
教育情報デザイン論 |
| 久保 沙織
准教授・教育評価測定論 | 佐藤 克美
准教授・教育情報デザイン論 |
| 中島 平
准教授・教育情報デザイン論 | 松林 優一郎
准教授・教育評価測定論 |
| 伊藤 文人
講師・教育情報デザイン論 | 西塚 孝平
講師・教育評価測定論 |
| 大西 竜太
特任助教・教育情報デザイン論 | 渡邊 祥子
特任助教・教育情報デザイン論 |
| 倉元 直樹
教授・教育情報デザイン論
(協力講座教員) | 宮本 友弘
教授・教育情報デザイン論
(協力講座教員) |

Faculty Members

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 神谷 哲司
教授・発達心理学 | 工藤 与志文
教授・教授学習心理学 |
| 長谷川 真里
教授・発達心理学 | 野口 和人
教授・発達障害学 |
| 佐藤 誠子
准教授・教授学習心理学 | 横田 晋務
准教授・発達障害学 |

Faculty Members

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 若島 孔文
教授・臨床心理学
・家族心理学 | 安保 英勇
准教授・臨床心理学
・コミュニティ心理学 |
| 本多 奈美
准教授・臨床心理学
・精神医学 | 前田 駿太
准教授・臨床心理学
・生理心理学 |
| 吉田 沙蘭
准教授・臨床心理学
・医療心理学 | シュレンベル レナ
講師・臨床心理学
・コミュニティ心理学 |
| 坂本 一真
助教・臨床心理学
・青年心理学 | |

WEBサイトで
教育学研究科コースを見る





教育学部の特徴

東北大学教育学部では、4年間を通じた、柔軟で一貫性のある教育プログラムを実施しています。

1年次においては、全学教育科目を中心としながら、幅広い教養の形成を行います。2年次以降、専門科目の授業を受講していきます。

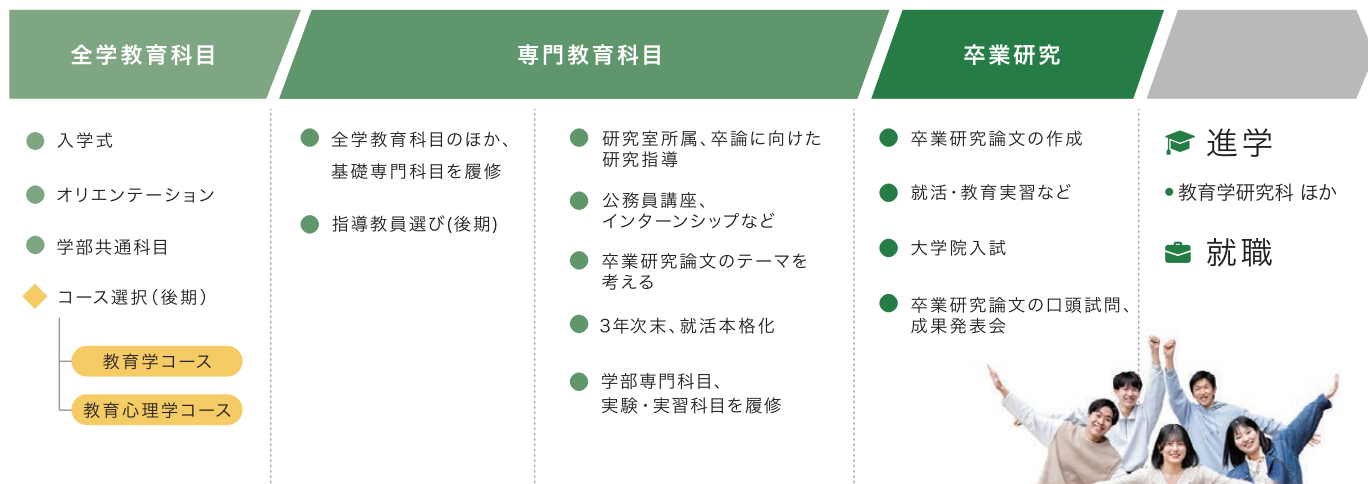
その際、「教育学コース」と「教育心理学コース」のいずれかを選択することとなります。2年次の後期の間に指導教員を決定し、3年次から研究指導が開始されます。これらをふまえて、4年次には卒業研究を行います。

flow 学習の流れ

WEBサイトで
教育学部コースを見る



1年次 ————— 2年次 ————— 3年次 ————— 4年次 ————— 卒業



◆ 1年次後期 コース選択

教育学コース



Studies of Education

教育の思想・歴史・組織・制度や、教育の内容・方法・組織(学びのイノベーション含む)と社会諸制度との関わりなど、多面的な教育の諸現象について、教育学および教育に関連する諸学問の内容を学び、自ら課題を設定して研究に取り組みます。文献講読・フィールド調査・実験・社会調査などを行い、教育学の研究方法を修得します。そして、その成果を卒業研究としてまとめます。

教育心理学コース



Educational Psychology

教育や発達・適応に関する諸現象について、人間の行動・心理的状态に関わる側面から、心理学的な概念や理論を学び、教育や発達・適応上の諸問題を解明するために自ら課題を設定して研究に取り組みます。文献講読・行動観察・実験・質問紙調査などを行い、ICTリテラシーなどを学びます。そして、その成果を卒業研究としてまとめます。また公認心理師のためのカリキュラムも提供されています。



Check 先輩が教える

東北大学教育学部大学院教育学研究科の

ここが良い!

※2026年東北大学教育学部・大学院教育学研究科
学生対象のアンケート結果より集計

研究環境が整っている

多様な専門性を持つ教員がそろっている
ので、多角的な視点で研究スキルを身
につけることができます! (2026年度入
学・大学院生)

教育内容が良い

教育そのものについて幅広い学問分野
からアプローチして学ぶことができるこ
とが最大の魅力! 教育の在り方、意義な
どについて深く考え学ぶことができると
感じました。(2023年度入学・学部生)

25.4%

38.1%

20.6%

7.9%

1.6%

3.2%

3.2%

その他

仙台市は程よく都会で東京へのアクセス
も良く、騒がしくなくてイメージが良い!
(2021年度以前入学・大学院生)

入試方法や難易度が 合っていた

地元に近い大学の中で一番難易度が自
分に合っていました。その後詳しく調べ
ていく中で、教育行政に興味を持ち志望
しました。(2024年度入学・学部生)

進学や就職に有利

学部卒業後の民間就職実績や院進の実
績が高い! (2024年度入学・学部生)

知名度が高い

知名度が高いだけでなく、教育学研究科
は多くの国際交流プログラムを展開して
いて、多文化教育分野で研究したい人
にとっては理想的な進学先だと思います!
(2026年度入学・大学院生)

国際色が豊か

留学生や外国文化に触れる機会が多く、
国際的な環境で学べると考えました。
(2026年度入学・大学院生)



3つの選抜方式で挑む
入学定員70名の入学枠

1 AOII期
(募集人員15名)

2 一般入試
(募集人員49名)

3 ゲートウェイ
カレッジ※

※ゲートウェイカレッジは入学後に所属する学部を決定するカリキュラムとなります。

Interview

学生インタビュー

鹿野 佑貴

KANO YUKI

教育学部教育心理学コース4年
石川県立金沢二水高等学校 出身

東北大学教育学部で見つけた
学びの楽しさと挑戦する大切さ

01 東北大学教育学部を志望した理由は？

地元を離れた挑戦の先で東北大学教育学部と出会った

一人暮らしへの憧れがあり、進路は全国の国公立大学を視野に入れて考えていました。地元を出るからには上を目指そうと思い、一浪を経験して、一度目の受験よりもさらに高みを目指して志望したのが東北大学教育学部です。

幼少期から人の様子をよく観察しているタイプで、親しい友人から相談を受けることも多かったため、人の心にフォーカスした学びがしたいと思い、現在は臨床心理学を専門に学んでいます。



02 東北大学教育学部の魅力は？

志のある仲間とともに成長できる環境

同じ志を持つ仲間と出会えることが大きな魅力です。考え方が似ている一方、バックグラウンドは多様で、その違いに触れることが刺激となり充実した大学生活につながっています。

また、行動力のある学生が多く、私自身もその影響を受けて挑戦を重ねてきました。中でも「海外教育演習」という講義での中国滞在は大きな転機でした。留学支援制度を活用して約2週間滞在し、現地学生の日本文化への関心の高さに驚くと同時に、自分の理解の足りなさに気づきました。異文化理解の大切さを実感した重要な経験です。加えて、コロナ禍の影響で海外渡航の選択肢がなかった私にとっては、できないという思い込みを打破するきっかけにもなりました。



東北大学はさまざまな支援制度が充実しています。ですが、自ら情報を取りにいかねば気付かないこともあるので、アンテナを張って積極的に行動に移すことが大切です。

心理学の学びでは、最初の授業で先生から「皆さんが思っている心理学とはおそらく違いますよ」と言われたことが強く印象に残っています。「人の心が読めるようになる」といったイメージを持たれがちですが、実際の心理学は人間の心と行動を科学的に解明する学問です。特に教育心理学は、心理学の知識やスキルを実践することに焦点を当てており、精神疾患といった臨床的な課題に向き合います。

心理的に苦しんでいる人々を支援したいと思っている私にとって、心理学の専門的知見を社会に出てカウンセリングという臨床現場で応用できる教育心理学コースの学びは、大きな魅力です。

03 将来の夢や目標は？

子どもたちに寄り添う未来を目指して

現在は大学院進学を目指して、試験勉強に励んでいます。将来はスクールカウンセラーになることが夢で、公認心理師の資格取得に向けて勉強中です。

こうした想いの背景にあるのは、小学生時代の経験です。周囲にはつらさを抱えながらも言葉にできない友達がいて、その気持ちは行動や表情から伝わってきました。「誰かが気づいて寄り添えたら」と感じた経験が、スクールカウンセラーを志したきっかけです。

東北大学教育学部での学びや経験を生かし、今後もさらに研究を進めて、子どもたちに寄り添える存在になりたいと考えています。



🕒 一日密着！鹿野さんのタイムスケジュール

2年生のある日

- 7:00 起床
- 8:50 1限「心理検査法」
- 10:30 東北大学附属図書館で講義の復習
- 12:00 昼休みと3限の空きコマを使って
趣味のカフェ巡り
- 14:40 4限「発達心理学講義」
- 16:20 5限「発達障害学講義Ⅲ」
- 18:00 帰宅後、ご飯を食べてお風呂に入りテスト勉強
- 21:00 テレビを観るなど自由時間
- 24:00 就寝

趣味のカフェ巡り

大学から仙台駅までは地下鉄です。気になっていたカフェにも気軽に行けます



5限「発達障害学講義Ⅲ」

公認心理師受験に必要な講義。発達障害の臨床的・研究的理解を深める専門教育科目です

3年生のある日

- 7:00 起床
- 8:50 1限「臨床心理学講義Ⅱ」
- 10:30 東北大学附属図書館で講義の予習や復習
- 12:00 学食で友達と昼食をとりながらおしゃべり
- 13:00 3限「教育心理学実験」
- 14:40 4限「教育心理学実験」
- 18:00 ダンス教室
- 22:00 帰宅後、就寝の準備をして課題に取り組む
- 24:00 就寝

3限・4限「教育心理学実験」

前期は先生から出されたテーマについて調査し、後期は学生主導でテーマを決めて調査します
多くの人にアンケートをとる量的調査や統計について学べる実習です

ダンス教室

昔習っていたダンスを再開！チャレンジする楽しさを実感しています





図書室

研究棟6階に位置する教育学部の図書室は、フロアの半分ほどを占める広さを有しており、専門スタッフ2名が配置されています。

閲覧用の大きなテーブルと椅子、キャレル(個人学習用の閲覧ブース)、コピー機、図書検索用のパソコンなどが備えられています。教育関連の専門書、雑誌、大学紀要など1万冊近くの蔵書が、開架式の書棚と12連の電動集密書架に所蔵されており、学生や教職員の教育・研究に大きな役割を果たしています。



学習や研究をサポート
豊富な専門書が

研究に必要な実験を行う施設



実験室

学習(人間が学び理解するメカニズム)に関する各種実験、認知(種々の感覚に基づく人間の情報処理)に関する各種実験、脳波等の生理心理学検査と聴力測定、各種の個別心理検査、集団間の相互作用の様子についての行動観察などを進めるための施設です。

また、これらの観察記録や分析のためのシステムも整っています。



データ解析が学べる環境で
優れた情報処理能力を養う

コンピュータ実習室

コンピュータ実習室には、コンピュータ30台とプリンタ3台が設置されており、各コンピュータにはワープロや表計算などの基本的なソフトをはじめ、4種類のデータ解析ソフトがインストールされています。室内には



ソフトの使用方法やデータ解析を学ぶためのテキストも備え付けられていて、授業や講習会などに利用されるとともに、学生が研究や学習をすすめるために活用しています。

リフレッシュルーム

学生の自己学習を促す、本研究科独自の施設です。各フロアに1箇所ずつ設置され、学生の休息や語らいの場であるとともに、自主ゼミや研究会などに使える施設となっています。眺望の良い明るい部屋には、ソファコーナーのほかに、ミーティングテーブル、プレゼンテーション用の大型モニター、ホワイトボードなどが設置され、学生はいつでも自由に使用できるようにしています。



仲間と自由にアイデアを交わす
開放的な空間

データで見る教育学部・教育学研究科

教育学部でとれる資格

- **教員免許状(一種)**
中学校(社会)、高等学校(公民)
※ただし他学部の授業との組み合わせで他の教科の免許状を取得することができる
- **社会教育主事**
※任用資格、社会教育士(称号)
- **学芸員**
※文学部の科目を履修する必要あり
- **公認心理師**
※一部、文学部の科目を履修する必要あり
※詳細は最終ページ「東北大学教育学部Q&A」のQ3を参照のこと

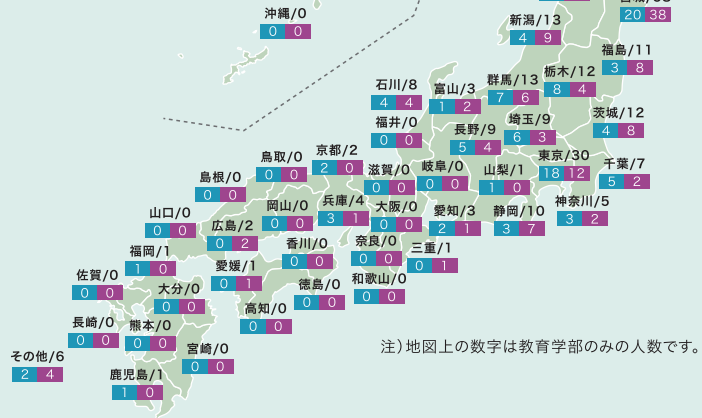
教育学研究科でとれる受験資格

- **公認心理師**
- **臨床心理士**
- **臨床発達心理士**
※詳細は最終ページ「東北大学教育学部Q&A」のQ3を参照のこと

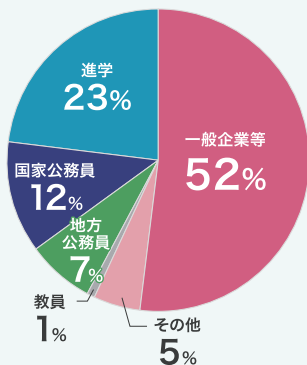
東北大学教育学部・教育学研究科の在学者数

(2026年5月1日 現在)

	男性	女性	合計
教育学部	136名	165名	301名
教育学研究科 前期課程	27名	53名	80名
教育学研究科 後期課程	42名	40名	82名



2025年度学部卒業生の進路



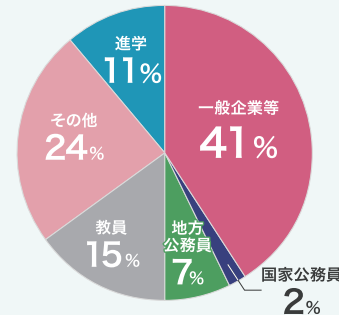
一般企業等(約52%)
東北電力株式会社、NTT東日本株式会社、日本ハム株式会社、アフラック生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、楽天グループ株式会社、株式会社創英コーポレーション、パナソニックハウジングソリューションズ株式会社、株式会社キーエンス、株式会社三菱UFJ銀行、三井不動産株式会社、住信SBIネット銀行株式会社、TOPPAN株式会社、東京エレクトロン株式会社、株式会社村田製作所、川崎重工株式会社、光村図書出版株式会社、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、学校法人早稲田大学 他

公務員・教員(約20%)
文部科学省、法務省、総務省、防衛省、厚生労働省、横浜家庭裁判所、仙台地方裁判所、宮城県庁、富山県庁、東京都庁、仙台市役所

大学院進学(約23%)
東北大学大学院教育学研究科、東北大学大学院国際文化研究科、一橋大学大学院

2025年度大学院(修士/博士)修了生の進路

大学院(修士)修了生

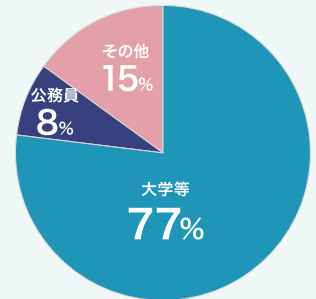


一般企業等(約41%)
東北電力株式会社、東海旅客鉄道株式会社、フューチャー株式会社、株式会社LITALICO、アマゾンジャパン合同会社、ウェルビー株式会社、株式会社リンクアンドモチベーション、株式会社エル・ティール・エス、株式会社大気社、株式会社クラ・ゼミ、日本タリアセン株式会社、株式会社LITALICOパートナーズ、三菱ケミカル株式会社、矢崎総業株式会社、学校法人古川学園、株式会社アールジーニー、学校法人聖ウルスラ学院、TE Connectivity Japan 合同会社 他

公務員・教員(約24%)
東京家庭裁判所、青森県庁、仙台市役所、名古屋市役所、宮城県教育委員会(教員を含む)、仙台市教育委員会(教員を含む)、山形県教育委員会(教員を含む)、山口県教育委員会(教員を含む)

大学院進学(約11%)
東北大学大学院教育学研究科、東京大学大学院教育学研究科

大学院(博士)修了生



大学等(約77%)
東北大学、大阪大学、大分大学、下関市立大学、高崎健康福祉大学、駒沢女子短期大学、ハノイ日本人学校、仙台高等専門学校

公務員(約8%)
国立障害者リハビリテーションセンター

WEBサイトで
学部卒業生の進路を見る



WEBサイトで
大学院(修士/博士)修了生の
進路を見る



取り組み 心理支援センター

研究科における心理学の基礎的研究や臨床研究の成果を地域社会に還元し、個人、家族、地域あるいは災害被災者に対する相談援助を行うとともに、公認心理師・臨床心理士養成のための実践的教育訓練を行うことを目的としています。センターには、臨床心理相談室、災害心理支援室、発達・学習心理相談室が置かれており、2020年度末に終了した震災子ども支援室“S-チル”の事業内容を、緊急支援・被災者支援・震災・防災心理教育として災害心理支援室で継続しています。また、既存の臨床心理相談室の支援体制を発展させ、さらに多様な専門性（発達・学習相談、遠隔支援など）を総合的に活用できる支援体制を構築しました。

心理支援センターについて
詳しくはこちら



STAFF スタッフ

若島 孔文
センター長・災害心理支援室室長・教授
安保 英勇
副センター長・臨床心理相談室室長・准教授
横田 晋務
発達・学習心理相談室室長・准教授



臨床心理相談室

子どもの不登校やいじめ問題をはじめ、職場や生活でのストレスや葛藤を持つ人々やその家族に対して、心理査定を含めた臨床心理面接を実施し、地域社会に貢献するとともに、臨床心理士（臨床心理士養成指定大学院1種）および公認心理師を養成するための内部実習機関です。構成員は、臨床心理学コース教員および大学院生を中心としています。

STAFF スタッフ

安保 英勇 室長・准教授
前田 駿太 副室長・准教授
若島 孔文 教授
本多 奈美 准教授
吉田 沙蘭 准教授
シュレンベル レナ 講師
坂本 一真 助教

発達・学習心理相談室

発達の問題や気がかり、学習のつまずきなど、乳幼児期から青年期に至るまでの子どもとその保護者への対応の仕方に苦慮する教育・福祉等諸領域の専門家に対して、より専門的なコンサルテーションを実施し、子どもとその保護者に対して求められる発達・学習支援を行います。構成員は、教育心理学コース教員中心としています。

STAFF スタッフ

横田 晋務 室長・准教授
神谷 哲司 教授
工藤 与志文 教授
野口 和人 教授
長谷川 真里 教授
佐藤 誠子 准教授

災害心理支援室

震災子ども支援室から資料および連携機関を引き継ぎ、(1)災害遺族支援・災害里親支援、(2)緊急支援・被災者支援、(3)災害心理教育を行っています。また、災害地域が僻地の場合、遠隔での支援体制を整え、遠隔支援システムを導入します。構成員は、教育学研究科の教員を中心としています。

STAFF スタッフ

若島 孔文 室長・教授
青木 栄一 教授
李 仁子 准教授

遠隔支援チーム

引きこもり者、介護者家族、遠隔地在住者等遠隔で支援を求める方への幅広いご相談に応じています。



先端教育研究実践センターは、社会的に重要な教育課題について、より機動的に対応するとともに、プロジェクト等への参加を通して学生が研究力・実践力を高めることのできる組織です。「重点研究プロジェクト部門」「地域教育支援部門」「研究・教育支援部門」「国際交流支援室」の各組織が研究や教育をめぐる取り組みを進めています。

STAFF スタッフ

甲斐 健人 センター長・教授 劉 靖 副センター長・准教授
大河 雄一 センター員・助教 閻 琬新 センター員・助教
朱 凱俐 センター員・助教 志宝ありむとふて 研究企画室・特任講師



国際シンポジウム・提携校



グローバルな研究活動を行う東北大学は、海外の著名大学の研究者との共同研究交流を重視しています。そのような交流を推進するために、東北大学は、2026年4月現在で世界243大学や機関と大学レベルでの交流協定を締結しており、さらに東北大学の単数もしくは複数の部局(研究科や研究所)が独自に494か所の海外の大学や機関と部局間協定を結んでいます。教育学部(教育学研究科)については、以下の22の大学・機関と部局間協定を結び、活発な研究交流や学生の相互派遣を行っています。

国際シンポジウム・提携校について
詳しくはこちら



大学・機関と部局間協定先一覧

- ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション
- 明知大学校社会教育大学院
- ヨーク大学教育学部
- 台東大学師範学院
- ウソン大学校保健福祉学部
- 南京師範大学教育科学学院
- 国立台湾師範大学教育学院
- 高麗大学校師範大学
- 国立政治大学教育学院
- 杭州師範大学教育科学学院
- 北京師範大学教育学部
- 南京師範大学心理学院
- 華東師範大学教育学部
- 華東師範大学心理与認知科学学院
- ソウル大学校師範大学
- 華東師範大学教育学部
- 国立インドネシア教育大学教育学部・大学院研究科
- UNESCO バンコク事務所
- 天津大学教育学部
- UNESCO 北京東アジア地域事務所
- チュロンロンコン大学教育学部

AEL COURSE

AELは「Asia Education Leader」の略で、アジア、特に東アジアにおける教育課題に対応できる国際的視野をもった指導的人材の育成を目指す国際共同教育プログラムです。

AEL COURSEについて
詳しくはこちら





各種奨学金制度

経済的な応援が心と暮らしをいきいきと豊かにします。

● 奨学金制度

優秀な学生のために、日本学生支援機構による奨学金(第一種・無利子、第二種・有利子)の貸与があるほか、2020年度からは修学支援新制度により学部学生を対象とした給付型奨学金が始まりました。さらに2025年度からは、多子世帯への支援拡充が始まりました。

その他、地方公共団体・民間奨学金団体による奨学金の貸与や給付の制度があります。経済面のしっかりした支援体制で、研究者養成を助けます。どの奨学金も学業成績の優秀な学生、そして経済的理由で修学困難な学生に資格が与えられます。学生生活を円滑に送るため、大切なライフプランニングに役立てることができます。

● 授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、その他、突発的災害等やむを得ない事情があると認められた場合には、授業料の全額、3分の2の額、半額、3分の1の額又は4分の1の額を免除する制度があります。

日本学術振興会特別研究員制度

創造性豊かな研究者養成のために研究奨励金を支給します。

大学院博士課程在学者及び修了者などで優れた研究能力を備え、大学その他の研究機関で研究することを希望する研究者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。

特別研究員になると、主体的に研究課題や研究の場などを選びながら、研究に専念する機会を持つことができます。わが国の学術研究の将来を担う、創造性に富む研究者の養成を目的としています。

東北大学学際高等研究教育院制度

新領域を創造する若手研究者を支援します。

東北大学学際高等研究教育院とは、既存の研究科・教育部の枠にとらわれず、新しいタイプの異分野融合からなる新領域の学際的研究を創造し、世界トップレベルの研究者を目指す若手研究者養成のための、東北大学独自の支援組織です。奨学金支給、論文投稿諸費用や学会、国際会議出席費用等の各種支援を受けられるほか、研究計画に見合った研究費や研究環境又は国際インターンシップのための助成、ポストクの雇用等の支援事業を行っています。

また、教育学研究科に所属しながら「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」に採用されることで、奨学金や研究費の助成が受けられます。

TA・RA制度

未来の教育指導者、若手研究者をしっかりサポートします。

● TA(ティーチング・アシスタント)

TA制度は、教育学部・博士課程前期2年の課程の授業をアシストするシステムです。成績優秀な大学院生が担当し、手当(時間給)が支給されます。学生を教育指導できる実践トレーニングの経験としてのメリットに加え、この体験は現実世界と理論とを融合させる格好の機会にもなります。

● RA(リサーチ・アシスタント)

RA制度は、博士課程の大学院生が研究科の研究プロジェクトに参画し、研究に必要な補助を行うシステムです。資格は博士後期3年の課程に在籍する優秀な学生に与えられ、手当(時間給)が支給されます。教員とマンツーマンで、研究の進め方や理論構築のノウハウなどを吸収できます。大学側の研究支援体制を強化するとともに、若手研究者の養成をサポートする充実した内容となっています。

博士研究員制度

就職前のポストクの研究環境を保障します。

博士研究員は、教育学研究科又は教育情報学教育部の博士課程3年の課程を修了した者を対象に研究者としての地位を保障する制度です。博士研究員は、授業料を払わずに本学の施設・設備の使用、指導教員による指導を受けることができ、さらに本学の研究者としてさまざまな研究費に独自に応募することができます。

長期履修制度

個々の事情にもとづいた修業年限の設定が可能です。

長期履修制度は、職業に従事している等の個人的事情により修学に専念できない大学院生を対象に、標準修業年限(前期課程2年・後期課程3年)を超えて在学することを認めるシステムです。授業料も標準修業年限分の納入額のみとなります。この制度は、より多くの人びとに大学院教育の機会を提供することがねらいです。

学生支援制度について
詳しくはこちら





教育学研究科

2025年度 博士論文

- 学校と地域をつなぐ支援者の越境的専門性の形成構造に関する実証的研究
- 音楽教育における音響表現作品の利用に関する研究
- 外国人介護人材の職場適応及び育成支援の構築—文化歴史的活動理論によるケーススタディー—
- 異文化間能力発達におけるクリティカルシンキングの媒介機能—中学生のオンライン協働学習にみる累積的発現プロセス—
- 幼児期における美術鑑賞に関する実証的研究—対話型鑑賞に着目して—
- 幼児期の発達性吃音の態様と実行機能—発話の安定性にかかわる発達プロセス—
- 文科系大学生に対する効果的な数学・統計教育の研究
- オンライン授業用講義映像の画面デザインに関する研究
- ヤングケアラーの心理的適応に寄与する個人および家族要因に関する研究
- 「母親になった後悔」の克服に関する臨床心理学的研究
- 小児・若年炎症性腸疾患患者の精神的健康—家族ケア者のケア負担および患者への関わりとの関連—

2025年度 修士論文(抜粋)

- 院内学級における知的障害児への学習機会の保障
- 越境移動とアイデンティティの形成・変容—在日広東人のライフストーリーを例に—
- 戦後占領期における中等音楽科教育の形成の諸相
- 不登校支援を組織運営する校長のリーダーシップ—校内教育支援センターに着目して—
- 中国の大学における留学生教育政策の具現化—教職員の裁量行使から見た可能性と限界—
- 同性教育プログラムを通じた人生の再構成—タイ北部における外国籍・無国籍の若者のライフストーリーから—
- 小学校教師のワーク・エンゲイジメントに関する研究—宮城県内の小学校への調査から—
- 日英機械翻訳における項省略の翻訳品質への影響と項の復元の必要性に関する再検討
- ネガティブなゴシップの活用における発達的变化—ゴシップをする人物の所属集団と動機に着目して—
- ユーモア・マインドと森田療法の鍵概念「あるがまま」の関連—不安の影響を考慮した検討—
- 一般成人における精神疾患の説明モデルを包括的に測定する尺度の開発
- 大学生のASD傾向と過剰適応傾向を媒介する要因の検討

博士論文・修士論文について
詳しくはこちら



教育学部

2025年度 卒業研究(抜粋)

- 選択式問題と記述式問題が学力評価に及ぼす影響
- フォトグラメトリで再現した山岳 VR 体験による 危険感受性の向上
- 会話における外国語不安と学習者の自己評価・学習歴の関係の検討
- 他者が困っている状況を観察した際の生理的覚醒 (arousal) と瞳孔径の反応—持続的変化と一過性反応に着目して—
- 子どもの実行機能と遊びの種類の関係
- 大学生における外的帰属傾向と抑うつとの関連—社会的比較志向性に着目して—
- 付箋分類入りが議論における新規アイデアの生成に与える影響—協同作業認識に着目して—
- ADHD 傾向と大学生活における困難との関係
- 留学経験が Sense of Coherence に及ぼす影響に関する実証的研究
- 英語で英語を教えることに対する高校英語教員の意識と実践のギャップ—宮城県私立高校英語教育を軸にして—
- 教員の業務負担軽減に向けた「学校・教師が担う業務の明確化」の地方自治体における運用実態
- 中学校教員の不登校に対する認識の変遷についての研究 - 不登校政策の変容及び職務経験との関連に注目して -
- 大学のリカレント教育による育児期女性の社会復帰支援 ～受講者のキャリアチェンジプロセスに着目して～
- 給食の時間における指導の課題—学級担任の学びに着目して—
- 環境活動に関する多主体連携の形成過程—みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) を事例として—
- 宮城県涌谷町における地域おこし協力隊の地域定着過程についての研究
- 合同部活動における集団維持と「対立回避」の論理—宮城県高校野球連合チームの事例から—
- 発展途上国における教育格差の構造的要因分析と公教育普及の条件
- 日本の大学生におけるファビングに及ぼす社会規範の影響—統制感と FoMO を組み込んだ連続多重媒介モデルの検討—
- 大学生の学業ストレスと音楽聴取の関連—音楽の気分調整効果に着目して—
- 運動介入によるストレス反応緩和と特性的自己効力感の向上に関する検討
- 高校時代の教師からの否定的関わり経験が教師への信頼感と自己肯定感に及ぼす影響

卒業研究について
詳しくはこちら



東北大学教育学部 Q&A

東北大学の教育学部
Q&Aについて
詳しくはこちら



Q1 東北大学の教育学部と他の大学の教員養成学部とは、どこが違うのですか？

A1 国立大学の教育学部には2種類あって、教員養成を目的とした教育学部と、教育学や心理学の研究・教育を目的とした教育学部があります。東北大学の教育学部は後者のほうです。

Q2 それでは、東北大学の教育学部では教員になれるのですか？

A2 中学校の社会、高等学校の公民の免許状が取れます。
その他にも、他学部の授業を履することで、国語や英語、数学、理科の免許状も取得できます。

Q3 教育学部に行けばカウンセラーになれるのですか？

A3 カウンセラーといっても様々な資格がありますが、教育学部/教育学研究科では「公認心理師」や「臨床心理士」に対応したカリキュラムを提供しています。
公認心理師の受験資格を得るためには、教育学部および文学部で開講される必修科目を履修し、卒業後に臨床心理学コースの修士課程を修了するか、認可を受けた施設で2年間の実務経験を積むことが必要です。また臨床心理士の受験資格を得るためには、臨床心理学コースの修士課程を修了することが必要です。いずれの場合も、教育学部で関連分野について幅広く学んだ上で、大学院や実務研修機関でさらに専門的な学びを深めることになります。

Q4 教育学部で学ぶ心理学と、文学部で学ぶ心理学では、どこが違うのですか？

A4 文学部では実験心理学や社会心理学の基礎的問題の解明に取り組んでいます。具体的には「視覚認知心理学」「感情心理」「ストレス、化粧、顔、香りに関する心理学」「地域社会における資源交換」「異文化体験」などが研究されています。
一方、教育学部では、広い意味での「教育」、すなわち、人と人とのかかわりに関する心理学が中心です。具体的には、教える、学ぶ、発達する、支援するといった行動やその心理学的実践をテーマとしています。主だった心理学の領域としては、「教育心理学」「学習心理学」「発達心理学」「障害児者心理学」「臨床心理学」などが学べます。

Q5 東北大学の教育学部を卒業すると、何になれるのですか？

A5 もちろん教員を目指す人もいますが、それ以外に企業や教育行政、矯正施設や福祉施設の中で自分の学んだ教育学・心理学を生かす人も大勢います。さらに、東北大学教育学部は、数少ない「大学院大学」の教育学部ですから、さらに高度な専門的能力を身につけるために大学院に進学する人も多くいます。



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学
大学院教育学研究科・教育学部

Graduate School of Education / Faculty of Education

〒980-8576 仙台市青葉区川内27番1号

TEL | 022(795)6105

URL | <https://www.sed.tohoku.ac.jp/>